



いいだ じろう

飯田 次郎

特任教授

所属

日本学研究教育センター

出身地

東京都板橋区

出身校

- 東京農工大学
- 同大学院

趣味

ロシアの動画を見ること

研究テーマ（専門分野）

国際開発協力、ソーシャル・キャピタル、ユーラシアにおける国際協力

研究概要

社会・文化・経済や対外関係の視点と、ソーシャル・キャピタルに注目して、中央アジアの人々の生計向上に役立つことに取り組んでいます。干ばつに強いとされるサツマイモをタジキスタンに導入できないか、カザフスタンの小アラル海地域の人々の生活向上には、どのようなアプローチが有効か、などを検討しています。

主な研究業績（論文や著書）

著書：『ソーシャル・キャピタルと国際協力ー持続する成果を目指してー【事例分析編】』（担当：農業水管理とソーシャル・キャピタル、農業技術普及とソーシャル・キャピタル、生活改善とソーシャル・キャピタル）

一般講演：「日本の国際貢献～途上国の緑と生活を守る日本人の取り組み～」

学会発表：「ロシアの対外援助」

主な社会貢献活動（各種委員会委員）

国際協力機構（JICA）や外務省・在ロシア日本国大使館などで勤務しました。JSTさくらサイエンスプログラムを活用して、タジキスタン科学アカデミーの研究員を招へいし、日本の干し芋加工の現場や、社会福祉法人が行う協生農法の取り組みを学び、タジキスタンにさつまいもを導入する取り組みを検討しています。

メッセージ

10年以上、カザフスタン、ロシア、タジキスタン、ウズベキスタンなどの旧ソ連で勤務しました。気候変動下において乾燥地の環境は悪化する中で、環境に適した農業の可能性、また、その農産物の栄養価値と健康への影響、さらに地域社会と調和した経済の仕組みなどについて、中央アジアを事例に実務の観点から深めていきたいです。